

4月1日（土）

聖書朗読 マタイ福音書 5：14－16

神は言われた。「天の大空に光る物があって、昼と夜を分け、季節のしるし、日や年のしるしとなれ。」
（創世記1：14）

人々の安全を守る標識、あるいは道標となる「しるし」と言えば、まず思いつくのは、交差点の信号や灯台、そして屋外にある大型の広告板などです。しかし、私たちがしばしば忘れていることは、私たちは、神様が与えてくださる希望や喜び、そして指示などを人々に示す可能性を秘めた「しるし」であること、それは自分で思っている以上の価値があるということです。絶望と失望に満ちた世界で、生き生きと生きている実際的な「しるし」や希望の光は、私たち全員が持ち続けるべき重要なものです。

本文の続きは e アパルーム PDF または
本誌をご購読ください。

初回に限り、最新号の e アパルーム無料
サンプルをお申し込みいただけます。

◎ 無料サンプルのお申し込み方法

画面左の **電子アパルーム案内** をクリック、
必要事項をご記入の上、送信してください。
（後日、eメールにてサンプル PDF が届きます）

